
僕とオレ

サウンド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕とオレ

【Nコード】

N4204D

【作者名】

サウンド

【あらすじ】

いじめられっ子だった主人公が、ある日をキッカに強くなることを決めた。世界が逆転して主人公は今までとは全く逆の生活を送ることになる。僕とオレー一体自分にはどっちが合っているのか。初めての友達、初めての恋人、色々な問題。たくさんの壁を乗り越えて主人公は自分を探す。

僕を捨てた

バキッ！

通っている中学のグラウンドに鈍い音が響き渡った。

「う……」

僕がうめき声をあげると奴等は狂ったように笑う。

「ギャハハハ！…なんだその気持ち悪いうめき声」

「マジ笑える」

「じゃあ次はオレが殴るわ」

「とりあえず今オレがトップだよな」

奴等は僕を殴った時のうめき声の大きさでどうやら勝負してるらしい。

もう4人に殴られたから、後2人の打撃を堪えればこの苦しみから解放される。

やり返そうとは思わない。

後でボコボコにされるのが落ちだから。

「いくぞ…ロケットパンチ…！」

ドスッ！

5人目の打撃が腹に入った。

激痛がはしる。

しかし腹はやっかいだ。痛みが長い。

「…」

声が出ないほどの痛み。僕はその場でダンゴムシみたいに転がった。

「なんだよコイツ！声でてねえし！」

5人目が納得いかなそうに叫んでる。「腹はダメだろ。いいか？このゲームにはコツつてのがあるんだよ」

六人目が自信満々の表情で言うと

吸っていたタバコを

うずくまっていた僕の右手の甲に押し当てた。

ジュッ…

想像を絶する痛みに

僕は喉が張り裂けるような声を出した。

いや勝手に出てしまった。

奴等が帰ってから
2時間ぐらいたったと思う。

もう日は暮れてる。

けど何だか動く気がしなくて
そのままグラウンドの真ん中で寝転がってた。

僕が大嫌いだった。

弱くて根性のない僕が大嫌いだった。

右手の甲に残った
キズを見つめて

変わってやるって思った。

中学3年の3学期

僕は

「オレ」になった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4204d/>

僕とオレ

2010年10月28日03時26分発行